

国際シンポジウム

アジアの流域水問題に関する知の共有と連携

-GCOE-UYにおける流域水研究・教育の深化と展開-

日時：2012年11月22日（木） - 11月23日（金）

会場：山梨大学情報メディア館 5F 多目的ホール

（〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11）

プログラム

■ 11月22日（木） 9:30 - 18:15

- ・ 開会式
- ・ セッション1「拠点形成事業の成果の概要」
- ・ セッション2「水問題解決のための人材育成」
- ・ セッション3「流域研究(1)：重点課題研究」
- ・ セッション4「流域研究(2)：一般研究」

■ 11月23日（金・祝） 9:00 - 12:00

- ・ セッション5「若手研究者セッション」
- ・ 外部委員による事業評価

【お問い合わせ】 〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11

山梨大学大学院医学工学総合研究部所属 国際流域環境研究センター内

山梨大学グローバル COE 国際シンポジウム実行委員会

TEL：055-220-8603 FAX：055-253-4915

E-mail：coe@yamanashi.ac.jp <http://www.gcoe.yamanashi.ac.jp/>

ごあいさつ

多様な自然・社会条件の下にあるアジア地域の河川流域において、豊かな水の恩恵を享受しながら、大規模洪水による被害の軽減や、水系感染症への対策を考えるためには、水環境に関わる個別の要素技術を深化させるだけでなく、それらの技術を総動員して流域水問題の解決に取り組む必要があります。

山梨大学グローバル COE プログラム「アジア域での流域総合水管理研究教育の展開」では、水に関わる最先端の科学技術をアジア域の流域風土に適合させ、アジア域の水に起因する災害・健康被害の諸問題を総合的に解決できる人材を養成するための研究・教育活動を展開してきました。研究では、(1)洪水・渇水などの災害をもたらす気象的・地理的背景、(2)人間活動や災害がもたらす水質・環境の悪化、伝染病の発生の機構、(3)アジア域に独特の水課題と特性を明らかにすることと、先端技術を駆使して収集したデータに基づいて水問題の解決策を提示するシステムの開発を行ってきました。また教育では、各水関連分野に関する深い専門知識の裏付けを持ち、かつ流域水環境についての広範な見識を備えた人材を育成する系統的教育システムの構築に取り組んできました。この教育システムには、大学院教育、e-ラーニングシステム、データ共有・活用ネットワーク、自立的な問題解決のための「処方箋」作りの仕組みも含まれています。さらに、研究・人材育成を通じて、各国組織間の協力関係、水の専門家の国際的ネットワークづくりにも力を注いできました。

本シンポジウムでは、先行の研究・教育プログラム(21 世紀 COE, 2003~2007 年度)も含め過去約 10 年間にわたって私たちが実践してきた流域総合水管理研究教育の成果を検証するとともに、その活動を通じて築き上げてきた研究教育拠点や国際的な人的ネットワークの今後の発展へ向けた課題について議論いたします。本シンポジウムでの議論をもとに、持続可能な未来に向けた新しい流域水管理のあり方について皆様とともに考えたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

山梨大学グローバル COE プログラム
アジア域での流域総合水管理研究教育の展開

拠点リーダー 坂本 康



アクセス

◆JR 甲府駅まで 電車利用

- ・新宿/松本方面から：JR 中央線にて「甲府駅」下車
- ・静岡方面から：JR 身延線にて「甲府駅」下車

高速バス利用

- ・新宿駅西口 新宿高速バスターミナルより、
新宿～甲府線乗車 「甲府駅」下車

◆JR 甲府駅から山梨大学甲府キャンパスへ

JR 中央線 甲府駅北口下車

- ・徒歩 15~20 分
- ・タクシー 約 3 分
- ・バス 約 5 分 (甲府駅北口から「武田神社」又は「積翠寺行」乗車、「山梨大学」下車)

◆甲府キャンパス

